

皆んなで選んだ
今月の秀句

息をして病床空くのをじっと待つ
死に水も取れず無念のコロナ葬

寺内 徹乗
遠田 亀公子

● 関東大震災 1923 T 12・9・1)

朝鮮人・中国人らの無差別虐殺。
福田村事件、亀戸事件、本庄事件、
金子文子・朴烈事件 など多数発生。
(竹久夢二が報告画信描く)

● 金沢第9師団南京攻略戦に参加

1938 上海で激戦 (42 日間・戦死 63%)

● 3人の詩人・川柳人の死去

3 日・楨村浩 (1938 拷問で発狂死)

11 日・井上剣花坊 (1934 柳中興の祖)

14 日・鶴彬 (1938 豊多摩病院で死去)

● 世界を変えた9・11 同時多発テロ

(2001 年 アフガン戦争始まる)

歴史に刻まれた9月

俳句が風景写真ならば川柳は報道写真と言われる (山田良行)。「自宅療養」という名の医療崩壊を冷静に詠んだこの2句。コロナ禍の今を伝えて光っている。(周)

「和」川柳社 8月会報 No. 707

定例会2021年8月23日(木)

来月例会案内

9月例会
投稿締切
課題「感」
自由吟
自選句、自解筆もよろしく。

9月23日(木)

20日(月)

3句以内

5句以内

◆ 目次 ◆

川柳互選・課題吟「生」	2
自由吟	3
狂歌	5
川柳連作・《川柳ひと言》	6
ほのぼの川柳・おたより	6
鶴彬「諷刺と抒情」	8
おたより 美川町・浄願寺	8
投稿 五月女ナオミ	8
戦争前夜抄《31》	12
「墨子を読みなさい」⑤	16
編集後記を兼ねて	16

9月の例会も誌上です。

8月の
川柳互選

◆ 点の付け方

推薦句◎…2点、準推薦句○…1点
◎3句以内。○全体の半数以内。

◆ 課題吟 「生」 (互選)

一人 3句以内吐

(投句15人/16人の互選)

1	健全な精神生身に帰ったか	一角	立東爺
2	メディア消え生身の夏五輪過ぎ	一角	
2	どうしたかジャンボで生まれ今はガリ	ひろみ	
2	知らずやエセアフガン中村医師の志	未知子	
2	「二生しない」スケボーで怪我やんちゃ孫	ひろみ	
3	生気なくひとり明るさ説いてはる	ダン吉	
3	輝ける過去の人生認知症	ひろみ	
3	「よい子です」生かされました通知簿に	未知子	
4	生きる人みんな主役とパラ五輪	広助	
4	アフガン危機神学生の成れの果て	未知子	
4	生き延びて昭和の世代強かよ	尉	

4	この道だ信じる道を生き抜かん	北の山
4	せつかく生まれ銃口向けられるアフガン	徹乗
5	沈没館逃げ足速い大使たち	立東爺
5	理不尽にひたすら耐えて生きている	徹乗
5	コロナ禍で生きることへの闘いぞ	宏
5	市長さんメダルの生嚙りどんな味	ふさこ
6	生肉をドラックストアで買う時代	一角
6	生涯の趣味に川柳選ぶ幸	尊柳
6	フードロス言つてる尻から捨てる弁当	ふさこ
6	生きるとはあえぎながらも連帯へ	宏
6	芸人もどつきり市長の生嚙りメダル	ふさこ
6	コロナ危機生命の危機思い知る	尊柳
6	どん底から青空見上げて生きて居る	大峰
6	余生ではおまへん今が真つ盛り	ダン吉
6	生き抜いてそうやすやすと死ねません	尉
7	一生を反戦平和叫びたい	尊柳
8	野蠻国人管生命もてあそぶ	亀公子
8	息をして病床空くのをじつと待つ	徹乗
8	コロナ禍で明日判らず生きて居る	大峰

9	ワクチンを打つも打たぬも命がけ	広助
9	消費期限過ぎてもさらに生きてゆく	尉
9	野垂れ死に強要されて人口減	白眞弓
9	透析で針の痛みに生を知る	宏
9	コロナに吹かれて安全安心在宅死	大峰
9	子の命賭す価値あるかパラ五輪	白眞弓
10	生か死か余命告知のないコロナ	広助
12	生きてます救急車にも乗れました	ダン吉
13	コロナから自助で生きよと叩かれる	立東爺
14	五輪より軽い命の私たち	白眞弓
16	生き死には自業自得という政治	亀公子
17	コロナ禍に自宅放置の生き地獄	亀公子

◆ 自由吟 (互選)

一人 5句以内吐

(投句15人/16人の互選)

山本太郎の前を遮るコロナ菌
 未知子
 べんちやらのやり方一つ知らぬ人
 ふさこ
 オリンピック捨てる弁当フードロス一番
 ふさこ

1	認知症の師我のハガキを懷に	未知子
1	史上初東京五輪無観客	尊柳
1	マスク顔外したらあらっ深いシワ	ひろみ
1	自粛慣れお墓参りも億劫なる	ひろみ
1	弁当を作る人の手考えてみよ	ふさこ
2	支持率が下がってもまだ居座つて	一角
2	淡々とただひたすらに淡々と	北の山
2	わが国はオリパラ強行民リスク	宏
2	田舎にも五輪コロナを広げたが	一角
2	ワクチンは手に入らない五輪過ぎ	一角
2	男泣きとはこらえ泣きしのび泣き	尉
2	傲慢が並ぶ自民のお歴々	立東爺
3	中国から横浜守れとラスベガス	白眞弓
3	コロナ菌水に流してバツハ去り	一角
3	終息より願わくばまず収束	ひろみ
3	パラ開会過剰警備に犠牲出し	白眞弓
3	大人の責任子どもに迫るコロナ菌	未知子
3	観客のいない会場の金メダル空し	ふさこ
3	ワクチンの不足第5波止まらない	尊柳

3	手をつなぎ合う老夫婦前を行く	尉	6	パンデミック世界のどこからでも出る死臭	亀公子
3	選挙に行かない若者ワクチンあと回し	徹乗	6	どう聞か声なき声に政治ある	広助
3	まだ「テレビ」もう「テレビ」でしょ孫四つ	ひろみ	6	コロナ禍のネットカフェが抱く狂気	亀公子
4	パラ五輪また繰り返すインパール	亀公子	6	パラ五輪工学技術の見本市	白眞弓
4	障害と体力ありてパラ選手	白眞弓	7	菅総理読み飛ばしにも見た真意	ダン吉
4	この秋は光が見える選挙戦	立東爺	7	選挙では市民野党で政権を	宏
4	スガ与党コロナ対策ゴテゴテだ	宏	7	横浜でカジノに勝負つけている	ダン吉
4	官邸は光が嗤う別世界	立東爺	8	先ず五輪コロナ忘れてバカ騒ぎ	大峰
4	戦い止まず人間力とウイルスの	未知子	8	死者の数メダルどころじゃありません	ダン吉
4	官邸は悪代官のたまり場か	宏	8	目覚めよアフガン中村医師が泣いている	未知子
5	大本営五輪金しか眼に見えず	亀公子	8	終戦日敗戦の日となぜ言わぬ	北の山
5	読み飛ばし期限切れですこの方は	北の山	9	強行の五輪を襲う変異株	尊柳
5	響き合って反核署名やつてくれ	大峰	9	安心安全と言ってたことは嘘でした	徹乗
5	バスを待つ一列下向き手にスマホ	立東爺	9	遅刻した総理を責めず事務を責め	一角
5	人質に児童学童パラ五輪	尉	9	五輪メダル喜び余所にデルタ株	ひろみ
6	余命宣告3年喰ってまだ元気	白眞弓	9	救急車病院巡りまだしてる	ダン吉
6	自宅療養まず最大の自助だろう	ダン吉	9	コロナ下の五輪へ揺らぐ平和の灯	尊柳
6	アフガンも米のカイライ崩壊す	宏	9	ヤンバルの森ゴミ捨て場にする海兵隊	大峰
6	招かざるバッハ再び来日す	尉	9	経済か命か天秤が嗤う	広助

10	2億人コロナも飢餓も増え続け	尊柳	14	かつて学徒いま学童を動員す	尉
10	アフガンへ懺悔をしない大統領	徹乗	14	復興へ五輪の虹が嘘でした	広助
10	感動もコロナの波にかき消され	徹乗	14	共存はできない核を抱いて居る	大峰
12	屑かごに国民の声捨ててある	広助	16	読み飛ばし首相の本音透けてみえ	徹乗
12	五波が来る三途の川の別れ道	大峰	18	死に水も取れず無念のコロナ葬	亀公子
12	真っ先に待避しました大使たち	立東爺			
13	根回しが上手か下手かで総理決め	広助			

狂歌

はばらがわ
羽原川 貞行

責任てふ言葉なき我が辞書の生く記者会見を今日も無事過ぐ
 五輪の花一谷咲ける向う山は切り開かれて感染者累々
 更新すあさなあさなの感染数ステージⅣの我が身に刺さりて
 ゆく人の流れは絶えず無自覚のわが主超ゆ日々県境を
 オリンピックコロナ爆発豪雨被害いままで経験したことがない
 ピーポ어의鋭く空に響きけり崩れ著し戦場と化し
 菅義偉
 ボランティア
 がん患者
 コロナデルタ株
 people
 医療従事者

狂歌

坂本 ふやう

誰もいない会場で汗する選手に民は涙あふるる

川柳連作「被爆蟬」 遠田亀公子

被爆蟬もの言えぬから鳴き明かす

原爆忌幾十万の蟬しぐれ

降り注ぐ声があの日を呼び戻す

あの時に焼き尽くされたはずの蟬

黒い雨の地中に居続けていた命

抜け殻の一つ一つにある苦悶

生き変わり死に変わりして被爆の地

豪雨感染反乱つづく蟬の月

官邸の蟬は靖国向いてしか鳴かず

大地を埋める一七年蟬が出す警鐘

亀公子の《川柳ひと言》

川柳には三つのアプローチがある。「穿ち」

「諷刺」「軽み」である。その中で「諷刺」こ

そが川柳の神髄であろう。川柳における「諷

刺」とは単に社会や人物の在り方を遠回しに

批判することだけではない。根底にはきちん

ほのぼの川柳

習い事子供の未来の投資だよ

神田 鯛

練習はキツイが頑張る我が子達

神田 鯛

メザスタを出来るチャンスを待つ我が子

神田 鯛

解りません暗号みたい若者語

東 爺

おたより

◆同相句に思うこと 岩原一角

今回の立東爺さんの句が同相句かどうかは別にして、私は独創的な題、独創的な句を心がければ同相句はさけられると思っています。独創的な句は賛否がわかれますが、そんな句を吐き続けます。その点題も「木」などではなく「禍」などの時事的なものがいいのではないのでしょうか。

◆おたより 岩佐ダン吉さんより

8月号を大阪の事務所に持って行ってますの

とした思想性があつてこそ、個人や国家の愚かさ、社会の罪惡、政治の欠陥などを嘲弄出来るのであつて、そうでなければ表面的な皮肉か悪口になってしまう。

鶴彬の句に「万歳とあげて行つた手を大陸へおいて来た」というのがある。鶴彬が最後に残した六句の中の一句であるが、戦争に駆り立てられて行つた戦前戦中の洗脳された兵士をモチーフにした句である。この句から読み取れるのは紛れもなく愚かな戦争の鋭い諷刺である。戦争に駆り出された兵士が負傷した手を中国大陆に置いて来た、しかもその手は勝ってくるぞと「ばんざい」をして行つた手だったと言う表現力の凄さ。鶴彬の突き抜けた川柳はここにあるように思う。

私も諷刺川柳に挑戦して出来たのが先の9句目、鶴彬の句に遠く及ばないのは勿論承知している。

で、正確ではありませんが「百本を切り一本の植樹祭」の一句はいただけません。既に私がこの句の原句・作者まで申しているのに記載された真意をはかりかねます。和川柳社の品位にもかかわります。「千本を伐り一本の植樹祭(作者・斎藤蒔・弘前市)は1996年の川柳塔まつり(川柳塔社・大阪)の「路郎賞」に輝いた川柳で「川柳塔」にも発表されています。

ダン吉さんへ (立東爺)

情報ありがとうございます。私としては元の句を確認したかったです。ネットで「斎藤蒔・川柳塔」で検索しても見つけることができませんでした。類想句、類似句はこうして生まれるのだと納得し、紹介しただけです。その句が大きな賞をいただいているというのは、私としても心強く感じた次第です。ありがとうございました。

類似類想句で意見交換

【尉さんからメール】

立東爺さんの植樹祭の句ですが、類似類想というより、句の厚みと鋭さの問題だと思いました。が。

私なら、

一山を伐り一本の植樹祭

とします、どうでしょうか？ 尉

【立東爺より返信】

この話題、いいですね。メールだけで消えるのはもったいないので、次回でこのメール紹介させて下さい。

【尉さんからメール】

和の諸句には気になる点があります。饒舌な句が多いことです。私は、十七音の厚みと一語の切れ味、断言を重視したいと思います。

拙い私句ですが、ご注視いただき、嬉しいです。

(なお、この後、「連句」についての話題が続きました。が、次号に回します。)

◆◆ 鶴彬の川柳ひと言 ◆◆

すぐれた川柳は諷刺と叙情がとけ合う

話題が川柳の諷刺性に移ったとき。いきなり鳥三平が僕に言った。(注・鳥三平は中島国夫の柳名)「川柳は諷刺的な批判を背骨にした文学だといふことが正しいと思ふがね。しかし僕はこのごろ情熱がもえて来ないと川柳がつかれないのだよ」

「それは本当だよ」僕はおうむがへしに肯定して言った。

「——もし情熱がともなはない諷刺だったらまるで冷めたメスのやうで、決して人の胸をゆり動かすことは出来ないと思ふよ。つまりすぐれた川柳とは、諷刺的な批判と抒情的な情熱がぴたりとけ合った場合に生れるものだからね。だから僕等がたとへ情熱で対象ととり組んだとしても、その奥にはやはり諷刺的な批判精神がはたらいてゐるのだよ」

『川柳ねこやなぎ』昭和11年9月

「鶴彬全集」313頁「諷刺と情熱」

《投稿》

白山市美川町・浄願寺

藤塚 曼^{まん}

いつも川柳通信あんやとございます。

「墨子」面白いです。次回も楽しみます。

何か話しをと言われてましたので、夏休み中に子どもらとワイワイしている駄話を一つ。

ラクゴの中に、口の前で合掌すると願いが叶うという話が出て来ます。口の前に指を十本持つて来ると「叶」という字になるという意味ダジャレです。これが好きで、今年のお盆配布の話しに使ったのですが、念のため調べてみると、意外なことに「叶」は面白い過去を持っていました。

馬鹿！と人を指す指は一本
でも中指薬指小指は
自分を指してる
三倍馬鹿なのだ・・・自分が
人に手助けに差し伸べる手は
指はみんな相手に向いている
武骨でもシワシワでも
その手は優しい
人を尊び合掌する手は
何よりも優しい

浄土真宗(真宗大谷派)

浄 願 寺

〒929-0215

石川県白山市美川南町ヌ170

TEL 076-278-2910

「かなう」は訓読です。では音読ではどう読みますか？ からワイワイが始まります。子どもはいい加減に言ってみたのがたまに当たるのですが、大人はまず当たりません。

音読の多くは漢字の構成部位の発音を使うので、口から「コウ」か、十から「じゅう」ですが、正解は「キョウ」です。

「叶」のどこを取ったら「キョウ」なんだろうのですが、字の発生が別の字だったからです。古くは「協」なのだそうです。その音が残って「キョウ」だったのです。

では十に力が三つの字がなぜ十に口に変わるのかがちよつと面白いところなのですが、ここは少し私見が入りますので、ちよつと加減して聞いて下さい。

「協」の「力」は象形文字では「𠂔」で、これは畑を耕す鋤^{すき}で、もつと古くは素朴に「𠂔」こんな感じです。

これが三つあるということは、一人ではたいへん

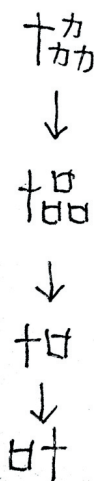
なので、何人もの力を合わさなければならないことを表しています。

ここでちよつと別の字を例に出します。令和の「和」ですが、少し前は並びが反対で「味」でした。更に古くなると「口」が一つではないのです。たくさんあるのです。



このたくさん口の「和」が、同じ事を言うので「和する」なのです。そのうちにたくさん書くのが面倒なので、一つになり、左右が入れ替わっている「和」になります。

この、多くの口が合わせるという意味合いが、「協」の力を合わせるに転用されて、



三つも書くのが面倒なので一つになって、左右

が入れ替わり「叶」に落ち着きます。

自分だけの小さな欲や思いから出た願いであつても、自分だけで叶えるのはどうしても難しく、それを応援してくれる人がいると叶え易いでしょう。

では、自分の願いをどうすれば人が応援してくれるのかを、考えなければなりませんよね。お盆の話しでは、口の前の合掌も学びが必要なのだと思うようになりました。

応援されたり応援したりということが、人が生きる基本のあたりにあるのだと思います。そのためには人が見えていないと難しいのですが、われわれは、見たくないものは見えないように出来るので、そういう事では、見るように教わる環境で育ててもらえるのは有り難いことだなと思います。

この口は体の口ではなく、神への祭文をいれる「サイ」という礼器だというのが白川静先生の説なので、そういう事ではまったく違う展開になります。

とりあえずはかなりなこじつけです。(了)

投稿

私の気になる「竹内浩三作品」

五月女ナオミ（横須賀市）

◎『鈍走記』より 「××は、豪華版である。」

伏字となっていますが、草稿では、「戦争は、悪の豪華版である。」と明記されています。世の中が、もう、どんどんと戦争への道を突き進んでいる中、軍国主義一色の中、竹内浩三さんは、この言葉を考え出して、思い、綴った。凄い表現だと思います。戦争に屈しない、世の中に流されない、という強い意志が感じられます。

◎漫画『四面軍歌』より クラシックが好きだった浩三さん。僕は軍歌が大キライです。あんなや

バンな歌……と書き添えられて、逃げ廻る姿が描かれています。この時代に、醒めた眼で世の中を見つめ、戦争を嫌悪していた浩三さん。自分がもし、その時代にいたら、どうしていただろう……。

私は、竹内浩三さんの詩を唄ったり、朗読させ

ていただいております。ライフワークにしている理由の大切なひとつは、竹内浩三さんのお姉様、松島こう様（故人）の存在です。

一九六四年、東京五輪の年、松阪市が「戦没兵士の手紙」を募集している事を知り、弟の詩集を持参したそうです。そして『骨のうた』は、大きな反響を呼びました。私は、竹内浩三さんの作品を、大切に大切にされて来た、お姉様の気持ちを大事に、又、受け継いで来られた方々の思い、と共に、これからも繋げてゆきたく思っております。

←←お近くにお住まいの方、よろしく。

【歌を届ける旅】～天性の詩人・竹内浩三を歌つ～

10月7日（日） 2時より

神奈川県逗子市 カフェ・ド・ギャリイ

問い合わせ：080-6535-2720（五月女）

連載

戦争前夜抄

31

周立東爺

半藤一利さんの遺言

「墨子を読みなさい」

⑤

現代に通じる「非攻」

半藤一利さんの「墨子を読みなさい」の啓示によって
森三樹三郎先生の翻訳による『墨子』（ちくま学芸文庫）
を拾い読みしている。



今回は墨子の中

心的思想の「兼愛」
であった。この兼
愛はキリスト教の
「隣人愛」「博愛」
に通じる。帝政ロ
シア時代のトルス

トイは墨子を読み、作品のベースにもなったと伝わっている。

さて、この「兼愛」で墨子は春秋戦国時代の戦乱の世をどう考えたか？これが「非攻」であった。森三樹三郎先生の訳で抜粋してみる。

まず「非攻篇」（上）から。

「他人の檻や柵に侵入して馬や牛を盗むことは、その不義の程度からいえば、他人の犬や雉・豚を盗み取ることよりも一層甚だしいものがある。なぜかといえば、人に損害をかける程度が一層大きいからである。もし人に損害をかける程度が大きければ大きいほど、その不仁の程度もひどくなり、罪もいよいよ重くなる道理である。」

「もし一人の人間を殺せば、これを不義といい、一つの死罪を犯したものとされる。もし、この道理からいえば、十人を殺した者は十の不義を重ねたことになり、十の死罪を犯したことになるわけである。このような事実については、天下の君子はみなこれを非難することを知っており、これを不義であるという。とこ

るが、いま他人の国を攻めるといふ大きな不義を働く者が現れても、これを非難することを知らないばかりか、かえってこれを誉めて正義であるという。まことに不義の何たるかを知らぬと言わなければならない。

その故にこそ、他国を攻めることを賛美した言葉を書きつらね、これを後世に伝えているのであつて、もしそれが不義であることを知っていれば、後世に伝える道理はないはずである。」

「少しばかりの非を犯すと、これを非難することを知らないが、他国を攻めるといふ大きな罪を犯した場合には、これを非難することを知らないばかりか、かえって、これを誉め、これを正義だというのは、正義と不義との区

○非攻上

今有一人入人園圃竊其桃李衆聞則非之上
爲政者得則罰之此何也以虧人自利也至攘
人大豕雞豚者其不義又甚入人園圃竊桃李
是何故也以虧人愈多其不仁茲甚罪益厚至
入人欄殿取人馬牛者其不仁義又甚入人太
豕雞豚此何故也以其虧人愈多苟虧人愈多
其不仁茲甚罪益厚至殺不辜人趣植其衣裘

『墨子批選』「非攻」部分
(内閣文庫蔵)

別を知るものと言えるであろうか。」

思い出したチャップリン

「一人を殺せば犯罪者だが、
百万人殺すと英雄になる」



これを書いていて、すぐにチャップリンの映画「殺人狂時代」の有名な台詞を思い出した。殺人をした主人公が裁判で自己弁護するシーン。「一人を殺せば犯

罪者だが、百万人殺すと英雄になる……」

チャップリンはこの映画や「独裁者」などを作つて、戦争反対を鮮明にするが、戦後、「赤狩り」の時代にハリウッドを追われることになる。

戦争はムダばかり

続いて「非攻篇」(中)では戦争について書いている。「戦争がもたらすものに有用なものは一つもなく、戦勝によつて得た利益を計算するとその損失の大なるには及ばないことがわかる。いま三里四方の城、七里四方の外

郭をもつ国を攻めるとしよう。もし鋭兵を用いることもなく、かつ味方の兵を殺すこともなくて、まるまる手に入れることができれば、これはよいということになるかも知れない。しかしながら、味方の兵を殺すことが、多い場合は万を数え、少ない場合でも千を数えて、これによって始めて三里の城、七里の外郭の国に勝つことができるのが実情である。」

墨子は侵略（攻戦）について語る

「攻戦が四、五の国に利益をもたらすことはあるとしても、これによって攻戦が正しい道であるということとはできない。それは言えば医者がある病に薬を与えるのに似ている。いまここに医者があるて祝薬を調合し、ひろく天下の病人を訪れてこの薬を与え、万人の患者がこれを飲んだとしよう。この場合、たとえ四、五人の治療して効果があつたとしても、なお万人に通用する薬であるとは言えないであろう。だから、このような薬は、孝子はこれをその親に服用させないであろうし、忠臣はその君に服用させないであろう。」

続いて墨子は過去の亡んだ国の例をいくつも紹介し、「やはり攻戦（侵略）が原因で滅んだ」と断じる。

「この故に子墨子は次のように言われた。昔の諺にも『君子は水に鏡せずして、人に鏡す。水に鏡すれば面の容を見、人に鏡すれば吉と兇とを知る』といっている。（注）

（森三樹三郎の注）

原文には「古者有語曰、君子不鏡於水、而鏡於人、鏡於水、見面之容、鏡於人、即知吉与兇」とある。水を鏡にすれば顔を見ることができ、人を鏡とすれば吉凶得失の所在を知ることができるの意。

この「非攻」は、侵略戦争を批判することから導かれた専守防衛の思想で「墨守」とも言われる。絶対に守り抜くという意味だ。これは説客・墨子集団の特異卓見なるところで、小国から救援を頼まれ、実際に科学技術を駆使して大国の侵略攻撃からその国を守って戦ったのである。

墨子は小説や漫画、映画になった

墨子（集団）は単なる口舌巧みな説客ではなく、戦争



の灯となつてい
る。梁王は、最
後の頼みの綱
と言わんばかり
漫画版「墨攻」
小学館

小説「墨攻」を紹介

(文春文庫の「本の話」より)

技術にも長けた戦闘集団でもあった。絵や映画の格好の題材である。酒見賢一が歴史小説とした。著者が「墨攻」と改題し、第一〇四回直木賞候補作となった(1990年)。

またこの小説を原作とする漫画版が作られ、「ビッグコミック」(小学館)に1992年から連載された。さらにその漫画を見た中国の映画監督が「日・中・韓十香港」の合作で映画にした(2006年 監督・ジェイコブ・チャン。主演・アンディ・ラウ)。

舞台は、大国の趙と燕に挟まれた小国・梁。十万の趙に攻められようとしており、もはや梁の運命は風前の



映画「墨攻」
主演・アン・
ソング(韓国)
日本から..
撮影・阪本善尚
音楽・川井憲次

に、墨家へサポートを要請する。墨家からは、きつとすぐれた軍師集団が派遣されるだろう、それで無事大国を退けるだろう、と期待してのことだった。

はたして、墨家から革離^{かくり}と名乗る軍師がやってきた。だが、派遣された軍師はただひとり。いったい、たったひとりだけで、梁国を見事助ける事ができるのだろうか。小さな国が大国の横暴のもとで弱っているときに忽然と現れるヒーロー。なんとかついい、そしておいしい役柄であろうか。万を数えるプロフェッショナルな軍人に対して、ただか数千人の村人集団。普通ならまったく勝てるわけがないのであるが、そこは墨者、驚くべき戦略と技術を繰り出して、大国をきりきりまいていく。そのすごい戦法こそ、本書の読みどころだ。

編集後記を兼ねて

▼鶴彬川柳大賞
が9月11日発表

されました(別紙で紹介)。今年から選者に高鶴礼子さんが参加。和川柳社の同人から入選に3人が入っていました。▼鶴彬の命日・9月14日を記念するイベントが高松で開催。コロナ禍であまり広報せず、しかし来てほしい

「鶴彬を顕彰する会」の通信「はばたき」の購読をおすすめします。38号が完成・発送されました。年間購読・3000円です。

9月例会のご案内(毎月第4木曜日)

◆例会 9月23日(木)◆投稿×切20日(月)

◆課題「感」3句以内 ◆自由吟5句以内

◆自選吟、連作、エッセイ、川柳論などもよろしく。

◆コロナ渦中で例会は誌上となります。

●投稿 FAX(076) 254-0762

●メールアドレスは下段に。

郵送は
下段住所へ。

「和川柳社」会報
会員募集しています!

同人: 4000 円/年
投句/購読: 2000 円/年

★会報の他に、関連資料などもお送りします。

という微妙な開催。ポスター展も審査員の参考作品展に縮小。▼11日は高松浄専寺で墓碑法要の集い、12日は碑前祭、18日は市民川柳祭、ポスター展(17日まで「まちかど交流館」で一次開催、18日から産業文化センターに移動)と続きます。▼この会報を作ったあと1頁の時、パソコンが破壊。お手上げになった。新機種でデータ移転ソフト再セットアップ、高松のイベントなどと重なり、大変な2週間でした。発送が遅くなり申し訳ありませんでした。(周)

和川柳社 〒920-0335 金沢市金石東2丁目15-30 (3-2) (渡辺 寛)

電話 FAX: 076-254-0762 PC-mail: kananabe@popolo.org

携帯: 090-9445-1302 携帯 mail: kan-wata@i.softbank.jp

振込先: 北國銀行中央市場支店 #191 普通 640 「和川柳社」